

神奈川県立相模原支援学校における学校運営協議会開催結果

本校の学校運営協議会を次の通り開催しました。

審議会等名称	令和6年度 神奈川県立相模原支援学校 第2回学校運営協議会		
開催日時	令和6年10月22日（火）14:00～16:30		
開催場所	相模原支援学校 実習棟 2階 縫製室		
出席者	学校運営協議会委員8名（1名欠席）、本校職員：事務局13名		
次回開催予定日	令和7年2月25日（火）を予定		
問合せ先	神奈川県立相模原支援学校 副校長 鈴木 智子 電話 042-778-0818 FAX 042-778-4957		
下欄に掲載するもの	議事録	公開を概要とした理由	
審議・会議経過	<p>（事務局）本日の日程・配付資料の確認、委員・事務局の自己紹介</p> <p>1 会長・学校長挨拶</p> <p>2 協議</p> <p>【 切れ目ない支援部会 】</p> <p>○コミスクレターについての説明 切れ目ない支援部会の活動を中心にまとめたもの。</p> <p>○活動報告 ※資料（コミスクレター）を基に活動を報告</p> <p><地域のごみ置き場マナー改善活動>まちづくり会議に支援学校の先生にも参加してもらい、是非一緒に考えたいというところで話がスタートした。今後も継続して取り組んでいきたい。</p> <p><麻溝公民館の清掃活動に関して>学校で行っている内容を実際の地域の施設で行った。このような機会に地域住民も参加できると良い。例えば地域の高齢者等、どのような形で地域住民が参加できるか検討していきたい。</p> <p><橋本高校文化祭に関して>約5000人の来校者があった。分教室の生徒も一生懸命に取り組んでおり、橋本高校と分教室と一緒に取り組めた文化祭であった。ハシモン（橋本高校のキャラクター）とにじバードが手を繋いで校内を練り歩いた。子どもたちの交流と共に、教員間の交流もでき良い機会となった。</p> <p><本校教員対象の進路見学会に関して>先生方へ向けて研修と施設見学を行った。情報共有や質問をしてもらいとても良い機会になった。</p> <p><PTA 活動報告について>草むしりを行い、教職員と保護者、保護者同士も良い距離感で、垣根を越えて話せて良かった。今後の課題としては、一般的なPTAの印象が良くないという事。そのイメージを取り払いたい。小学部棟のペンキ塗り活動も楽しくできて、壁も綺麗になった。</p> <p><分教室の 学校見学について>帝京大学には、現職の先生方が1年間学びに来ている。分教室という場所が目新しく、学びになった。また橋本高校を見る中でインクルーシブについて知ることができた。</p> <p>[質問・意見等]</p> <p>▶コミスクレターが教職員向けであるのがもったいない。地域の方々にも見てもらえると良い。</p> <p>⇒児童・生徒の写真が載っているため、配付は難しい。内容の一部はHPで閲覧でき</p>		

る。また、学校通信でも内容を発信している。学校通信は地域にも配付している。

- ▶地域の方々には、障害者の方への偏見がある方もいる。知ることによって理解できる。いろいろなことを知ることによって関わる事ができる。HPはアクセスしないと情報が見られない。もっと積極的に「知ってよ」とアピールできると良いのでは。
- ▶学校だけではなく、子どもたちに支援が繋がっていくことが大切。卒業後にいろいろな所に行った時に、知ってもらえている事によって支援が繋がっていく。地域のみんなで育てていくことができると良い。
- ▶個々でやってきたことがまとまってきた。継続的に続けていく中で、バージョンアップしていくことが大切。持続可能なシステムを作っていくことが大切。
- ▶地域の人々が障害のある方とどのように関わっていくのか、プログラムとして考えていくこともできる。PDCAで考えていけると良い。
- ▶地域の小中学校に通っているお子さんがいる保護者の方々は、支援学校に対する受け止め方が違う。「支援学校ってこんなことやってくれるんだ」と感じていただく事も大事。同じ課題を一緒に考えていくことによって距離が縮まり理解が深まる。

【 学校評価部会 】

○各グループ、学部よりスライドを基に中間評価（これまでの取り組みと今後に向けて）説明。

[質問・意見等]

- ・50周年記念のイベントを盛り上げているのが良くわかる。「花いっぱいプロジェクト」に関しては麻溝地区まちづくり会議にも報告する。
- ・原当麻駅付近の清掃や花植えについては、地域としてもありがたいと思っているが、どのような子どもたちがやっているのか周知されていないのでは。周知して地域に踏み込んでいけると、地域で育てていることに結びつくと思う。
- ・一人一台端末に関しては、保護者が子供と一緒に使う手立てなど、保護者への支援も検討できると良い。
- ・麻溝公民館利用団体で国から表彰された「手ぶくろの会」という読み聞かせの団体がある。麻溝小や夢の丘小でも読み聞かせを行っている。読み聞かせで聞いたもので、読んでみたいと、図書館へ行って本を借りる事につながると良いと思う。このような形で地域と学校が一緒に取り組めるものが多くあると良い。
- ・「卒業生講話～福祉事業所と語ろう～」などのような機会が増えると良い。福祉事業所では、送迎ありの事業所が増えている。社会自立や自立度を阻んでいると感じている。少しずつでも自立の関わりが増えると良い。傘がさせない人がさせるようになることが将来に結びつくものだと思ってもらいたい。

▶マイクロバスの原当麻駅から歩く支援に関しては、生徒だけで歩いているのか。

⇒まずは教員が付いて見守ってというところから、スモールステップで進めている。今は遠くから教員が見守り、学校まで歩いている。個別教育計画に基づいて行っている。いずれ大型バスも同じようにできたら良い。

▶原当麻から学校までの道沿いの地域の人にも意識づけできると良い。災害などいつ起きるかわからないので、知ってもらうことは大切。

▶一人一台端末に関しては、県の研修等はあるのか？

⇒情報担当者の共有はある。実際に現場でやっている先生たちがやり取りしている。本校で端末の活用ガイドラインを作っている。他校とも共有しながら整えていき

い。

▶**実際になった時にパニックにならないように揺れる体験など実体験の場を設定すると良いと思う。家にいる時の学習も。生徒達にとって体験は大切。**

⇒月1回シェイクアウト訓練を行っている。今後、学習内容の整理や発達段階（例：小学部ではパニックにならない、高等部では私生活での対応等）を考慮した「防災」教育を整理していく。

➡地域の人たちも一緒にとられるが、それだけでは意味がない。学校が避難場所となっているので、実際に対話し理解する場面を設定してほしい。支援学校を身近に感じてもらいお互い気になる存在・関係性になればと思っている。いろいろなところから話すきっかけを設けると良い。

➡BCPの作成が義務化された。災害対策は大切。専門機関と相談して計画を立てていく。障害者施設として情報共有できると良い。子どもたちが日頃から「防災」をどう取り組むかが大事。

▶**他校との関わりについて、麻溝小・相陽中・光明学園との交流は現在どうなっているか？**

⇒麻溝小とは、コロナ後実施できていない。相陽中とは、コロナ禍は非対面で実施。昨年度対面での実施を再開。今年度は12月に実施予定である。

➡学習指導要領では小、中、高、特別支援学校のすべてに交流及び共同学習について書かれている。どのような形でも交流ができると良い。

▶**意思表出支援について。**

➡意思決定支援について、本人が選べる支援が大切である。意思決定までのプロセスも大事である。

▶**教材研究時間の使い方は？どのくらいの時間？放課後の時間には教材研究を行なっているか？**

⇒なかなか取れていない学年もあるが、「この時間は抜けて良い」と教員の意識改革を図っている。教育課程見直しにともない、多種多様な働き方の教員との話し合いの時間を下校時刻の早い放課後に設定している。

▶**特別支援学校の教員の専門性とは？**

➡自分たちがどこまで専門性があり、専門性が上がっているかをアセスメントし、話し合い、具体化して取り組まないといけない。具体的に挙げそれを達成することにより自信につながるのではないか。

▶**不登校の生徒の人数は？その生徒への対応は？学校全体で不登校の生徒は何人いるのか？**

⇒全校で15名程度。不登校の生徒への対応として、家庭連絡や家庭訪問、他機関（ソーシャルワーカー、計画相談等）との連携を行っている。

すべての案件に教育相談コーディネーターが関わっている。流れについては様々なケースがあるため決まっていないが、教育相談コーディネーターから丁寧な記録を回覧し、対応方法を共有している。今後学校としての体制を検討していきたい。

	<p>➡不登校の原因として学校の存在が怖い等様々な理由がある中で、積極的に外部とつながった方が良いと思う。ただ、外部とつながることで学校から見放されたと感じる保護者もいたため、ICTを活用したり時間を変えて登校を促したり工夫している。</p> <p>3 閉会 会長・学校長挨拶</p>
<p>会議資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○令和6年度第2回「学校運営協議会」開催要項 ○学校評価の流れについて ○令和6年度 相模原支援学校 学校評価（中間評価）（案） ○令和6年度 学校評価アンケート（案） ○令和6年度 学校運営に関する評価アンケート（保護者用）（案） ○令和6年度 学校運営に関する評価アンケート（教員用）（案） ○令和6年度 教育課程改善についての報告 ○自分専用端末の活用についての報告 ○令和5・6年度業務改善について ○第1回学校生活アンケート報告 ○各種研修会一覧 ○令和6年度ストレスチェック結果を受けて ○センター的機能の充実に向けて ○コミスクレター ○学校新聞 つなぐ ○PTA 会報 養護さがみはら